

■令和4年度制度予算要望について

公益社団法人 日本歯科医師会

1	医療安全・感染症対策等の充実強化
2	健康を支える歯科健診体制の充実
3	新しい生活様式を踏まえた歯科保健医療の推進
4	地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の充実
5	ICTを活用した歯科保健医療提供体制の強化

厚労省関係としては上記を骨子とし、特に以下の3点については重点項目として取り組みをお願いします。

- 1. 病院における歯科医療提供体制の充実**
- 2. 口腔健康管理及びオーラルフレイル対策の充実**
- 3. 全ての国民を対象とした歯科健診の導入**

- 地域包括ケアの推進のために病院における歯科の設置、歯科医師の配置の必要性を示してきた。今後のウイルス感染症の対応に向けても、病院における歯科医療提供体制の充実は急務である。
- 口腔健康管理及びオーラルフレイル対策は、健康増進や介護予防に重要であることから、健康施策や介護施策に明確に位置づけられることが必要である。
- 歯科健診制度が、ライフコース全体の中で切れ切れになっている現状は多くの課題がある。歯科口腔保健の推進は、国民の健康に大きく寄与することから、切れ目のない歯科健診は重要である。